

日本の国土は南北に長く(約 3,000 km超)、また、標高差も大きい(3,000m 超)といった特徴を持ち、多種多様な自然環境が存在しています。その多様な自然環境のそれぞれの環境条件に応じて、植物が群落を作っており、植物群落が集まって日本の植生を構成しています。

植生図は、植物社会学に基づき現存植生を群集(群落)単位で地図上に表現したもので、全国的に整備されています。

クラス域と現存植生

日本の植生は緯度に伴う水平的分布と標高による垂直的分布によって、植生の分布パターンが高山帯域(高山草原とハイマツ帯)、コケモートウヒクラス域(亜高山帯針葉樹林域)、ブナクラス域(落葉広葉樹林域)、ヤブツバキクラス域(常緑広葉樹林域)に大別されます。

奄美群島はこのうちヤブツバキクラス域に属しています。ヤブツバキクラス域は関東以西の標高 700m~800m 以下で発達しますが、南に行くほど分布域の高度は上がり、九州の霧島では、1,000mが上限となっています。

現在その土地に成立し、直接見ることのできる植生を現存植生といいますが、その多くが、本来その土地に生育していた植生(自然植生)から人間の活動によって置き換えられた植生(代償植生)となっています。

奄美群島の植生

奄美群島の森林はスダジイを主体とした樹林が広がり、奄美大島の湯湾岳や、徳之島の山地中腹部の一部にはケハダリミノキースダジイ群集などのスダジイの自然植生が残存しており、学術的にも価値の高い森林になっています。その他、奄美群島の多くの森林は、かつて人の手が加わっている代償植生になっています。

また、各島の沿岸にはサンゴ礁が発達しています。特に喜界島の沿岸は、北限域にあたる完新世時代の隆起珊瑚礁が広がり、その上に低木群落などの隆起珊瑚礁上の様々な群落が成立しています。喜界島の隆起珊瑚礁植生は北限域にありながら、海岸から内陸地に向かって連続して残されており、面積も広く多様性の高い植物群落として貴重な地域です。

さらに、奄美大島の住用には、熱帯・亜熱帯の潮間帯に成立するマングローブ林が分布し、その広さは国内 2 位を誇ります。

植生区分	大区分	群落名	色
ヤブツバキクラス域 自然植生	落葉広葉樹林	ハドノキ・シマサルズベリ群集	■
		アカテツ・ハマビヅ群集	■
		アマミテンナンショウ・スダジイ群集	■
		ケハダリミノキ・スダジイ群集	■
		アオバナハイノキ・スダジイ群集	■
		オキナワウラジロガシ群集	■
		タイミンタチバナ・ミヤマシロバイ群集	■
		ナガミボチョウジ・リュウキュウガキ群集	■
		ガジュマル・クロヨナ群集	■
		アマミアラカン群集	■
亜熱帯常緑広葉樹林 (隆起石灰岩上)	常緑広葉樹二次林	ナガミボチョウジ・リュウキュウガキ群集	■
		ガジュマル・クロヨナ群集	■
亜熱帯湿性林 (マングローブ林)	マングローブ群集	ハマボウ・サキシマスオウノキ群集	■
		ソテツ群集	■
亜熱帯低木群落	低木群落	アダン群集	■
		オオハマボウ群集	■
		モンパノキ・サトベラ群集	■
		ギョクシンカースダジイ群集	■
		ボチョウジ・イジュ群集	■
		ナガミボチョウジ・ヤブニッケイ群集	■
		ハドノキ・ウラジロエノキ群集(二次林)	■
		リュウキュウマツ群集(MI)	■
		タケ・ササ群集	■
		クズ群集	■
ヤブツバキクラス域 代償植生	常緑広葉樹二次林	リュウキュウチク群集	■
		クズ群集	■
		ダンチク群集	■
		ナガバカニクス・サスキ群集	■
		伐採跡地群集	■
		伐採跡地群集(MI)	■
		セイタカヨシ群集	■
		塩沼地植生	■
		砂丘植生	■
		海岸断崖地植生	■
河辺・湿原・塩沼地・砂丘植生等	湿原・河川・池植生	ヨシクラス	■
		塩沼地植生	■
		砂丘植生	■
		海岸断崖地植生	■
		隆起珊瑚礁植生	■
		コウライシバ群集	■
		スギ・ヒノキ・サワラ植生	■
		ギンネム群集	■
		モクマオウ類植生	■
		植林地、耕作地植生	植林地
ギンネム群集	■		
モクマオウ類植生	■		
牧草地・ゴルフ場・芝地	■		
牧草地	■		
路傍・空地雑草群集	■		
放棄畑雑草群集	■		
果樹園	■		
茶畑	■		
畑雑草群集	■		
その他	市街地等	市街地	■
		緑の多い住宅地	■
		残存・植栽樹群を持った公園、墓地等	■
		工場地帯	■
		造成地	■
		開放水域	■
		自然裸地	■

[出典] ・植生図 「第6-7回自然環境保全基礎調査植生調査報告書」(環境省生物多様性センター)
(<http://gis.biodic.go.jp/webgis/sc-025.html?kind=vg67>)
・市町村界 「国土数値情報(行政区域データ)」(国土交通省)
(https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-N03-v3_1.html#prefecture46)
・陰影 基礎地図情報数値標高モデル 10mメッシュ(標高)より作成
・背景図 地理院タイル(淡色地図)



▲(左)植生図の詳しい説明
(右)より拡大した植生図
を確認する場合はこちら
自然環境調査 Web-GIS
(環境省生物多様性センター)

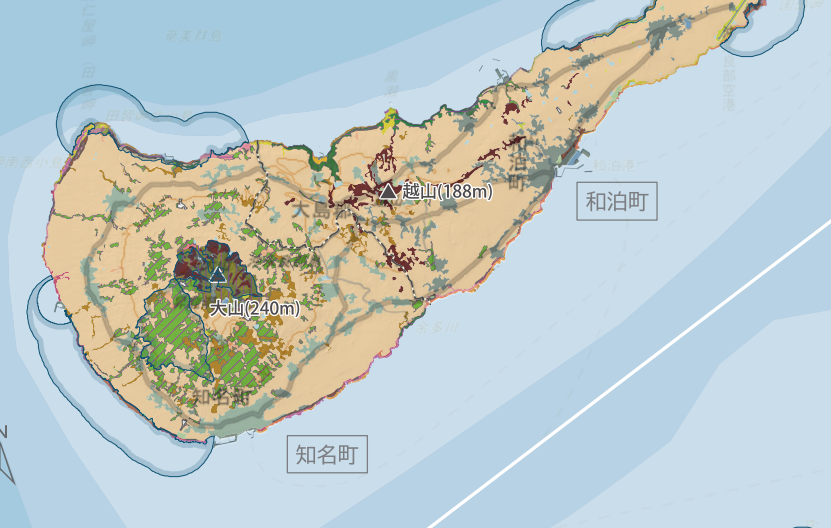
加計呂麻島 与路島 喜界島 奄美大島 請島 徳之島 沖永良部島 与論島 沖縄本島

索引図

与論島



沖永良部島



奄美大島・加計呂麻島・請島・与路島

徳之島



喜界島

